

例 言

1. 本書は、埼玉県入間郡大井町内に所在する遺跡群の2000年度の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査および整理作業は、国庫(3,900,000円)、県費(1,950,000円)の補助金の交付を受け、平成12年4月3日から平成13年3月31日まで実施した。
3. 調査組織

調査主体者	大井町教育委員会	文化財保護係長	坪田幹男
担当課	生涯学習課文化財保護係	文化財保護係・庶務	高橋偕子
教育長	遠藤正明	文化財保護係・発掘調査担当者	高崎直成・鍋島直久
教育次長	池本敏雄	大井町臨時職員・発掘調査担当者	土本医
生涯学習課長	金子忠弘		
4. 本書作成にあたっての作業分担は次のとおりである。
 執筆：縄文土器 今井堯、本文・遺構 高崎直成 土器拓影：石垣ゆき子、丹治つや子、福島雅子、山口妙子
 土器・陶磁器実測：青山奈保美、石垣ゆき子、伊藤弘一、丹治つや子、福島雅子、山口妙子 石器実測：青山奈保美
 土器復元：中田藤子 トレース：青山奈保美、小林登喜江、須藤さち子、表作成：植田勢津子
 図版作成：青山奈保美、植田勢津子、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子
 遺構写真：高崎直成・土本医・坪田幹男・鍋島直久 遺物写真：高崎直成
 また、整理作業のなかで日本考古学協会の今井堯氏の援助と協力を得た。
5. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。(敬称略)
 会田明、浅野晴樹、穴澤義功、天ヶ嶋岳、荒井幹夫、市丸靖子、上田寛、内田賢司、岡田賢治、加藤秀之、梶原勝、
 梶原喜世子、神木繁嘉、國見徹、隈本健介、小出輝雄、駒井和久、桜井信枝、笹森健一、佐藤啓子、島田一郎、
 高橋京子、田中信、中島宏、塚田政子、原口雅樹、早坂廣人、松本新八郎、松本富雄、水村孝行、柳井章宏、
 柳沢健司、和田晋治
 埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課、東久保土地区画整理組合、大井町立郷土資料館、大井町遺跡調査会、
 (有)文化財COM
6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。特に、本村遺跡第86地点および東台遺跡第33地点の調査にあたっては富士見市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。記して厚く感謝の意を表したい。
 〈発掘調査参加者〉(敬称略)
 新井和枝、飯塚泰子、井上晴江、海老原サナエ、大曾根キク子、笠原英子、加藤智香子、金子君子、金丸文男、
 小林こずい、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、関田成美、高貝しず子、戸澤竹二、
 中嶋末子、野岡由紀子、林きぬ子、比嘉洋子、増沢勝実、三村美代子、村端和樹、若尾久美子、若林紀美代
 (富士見市教育委員会) 飯田久子、泉邦子、上田寛、黒田千恵子、佐々木真理子、清水七枝、関根輝子、高野ナミ、
 戸田美根子、中路子、名久井よし江、羽田美代子、深野サイ子、吉田信江、若槻たか、渡辺日出男
 〈整理作業参加者〉(敬称略)
 青山奈保美、石垣ゆき子、石原聡、伊藤弘一、植田勢津子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、
 中田藤子、福島雅子、山口妙子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。
 - (1) 縮尺は原則として
 遺構配置図 1 : 300 遺構平面図・遺物出土状況図 1 : 60、1 : 30 炉などの詳細図 1 : 30
 土器実測図 1 : 3、1 : 4 土器拓影図 1 : 3 石器実測図 1 : 3、2 : 3 銭 1 : 1
 - (2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。
 - (3) 遺構図におけるscreen-toneの指示、遺物出土状況のドットの指示。
 攪乱  地山(ローム)  焼土 
 土器 ● 石器 ★ 黒曜石・チャート ▲ 礫 ○
 - (4) 土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。
 - (5) 土器・陶磁器実測図の中心線が破線の場合は、180度回転させて復元実測したことを示す。
2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。
3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第2表 2000年度埋蔵文化財調査一覧表

No.	遺跡・地点名	申請地	調査 面積(m ²)	開発 面積(m ²)	原因	試掘期間	調査措置
						本調査期間	
1	鶴ヶ岡遺跡第2地点	鶴ヶ岡3-16-1・14	320	1,327	共同住宅	12. 4. 6～12. 5.16	試掘
2	亀居遺跡第53地点	鶴ヶ岡2-28-1	628	1,422	飲食店	12.10.30～13. 1.18	試掘
3	江川南遺跡第13地点	東久保3街区21画地	55	123	個人住宅	12. 6. 7 12. 6. 8～12. 6.21	教育委員会で 本調査
4	江川南遺跡第14地点	東久保1街区1画地	237	461	店舗	12. 7. 5～12. 7.10 12. 7.10～12. 7.18	教育委員会で 本調査
5	江川南遺跡第15地点	東久保2街区1画地	1,050	2,375	共同住宅	12.12. 8～12.12.26 13. 1.10～13. 1.19	試掘後遺跡調 査会で本調査
6	亀久保堀跡遺跡第25地点	東久保8街区9画地	79	187	個人住宅	— 12. 4.10～12. 4.12	教育委員会で 本調査
7	亀久保堀跡遺跡第26地点	東久保6街区13画地	36	105	個人住宅	12. 5.11～12. 5.18	試掘
8	亀久保堀跡遺跡第27地点	東久保31街区2・3画地	180	1,011	駐車場	12. 5.29～12. 6. 1	試掘
9	亀久保堀跡遺跡第28地点	東久保29街区3-6・9画地	1,029	1,365	整地工事	12. 6.29～12. 7. 4	試掘
10	東久保遺跡第25地点	東久保18街区13画地	50	135	個人住宅	12. 4.13～12. 4.14	試掘
11	東久保遺跡第26地点	東久保31街区9画地	833	1,107	砂利敷駐車場	12. 4.14	試掘
12	東久保遺跡第27地点	東久保14街区8画地	30	130	個人住宅	12. 6.29～12. 7. 4	試掘
13	東久保遺跡第28地点	東久保4街区18・20画地	16	218	個人住宅	12. 6.30～12. 7. 4	試掘
14	東久保遺跡第31地点	東久保15街区26画地	87	126	個人住宅	12. 6. 7	試掘
15	東久保遺跡第33地点	東久保15街区24画地	22	128	個人住宅	12. 8. 2～12. 8. 3	試掘
16	東久保遺跡第34地点	東久保18街区15画地	38	110	個人住宅	12. 8.29～12. 8.30	試掘
17	東久保遺跡第35地点	東久保23街区3・4画地	46	139	個人住宅	12.12. 7～12.12. 9	試掘
18	東久保遺跡第36地点	東久保15街区21・22画地	40	135	個人住宅	13. 1.19～13. 1.25	試掘
19	東久保遺跡第37地点	東久保15街区13・33画地	40	149	個人住宅	12.12.11	試掘
20	東久保遺跡第39地点	東久保4街区8・9画地	117	317	個人住宅	13. 3.22～13. 3.27	試掘
21	東久保西遺跡第10地点	東久保11街区3・11画地	136	1,760	店舗	12. 5. 8～12. 5.10	試掘
22	東久保南遺跡第21地点	東久保64-1街区	288	1,283	共同住宅	13. 1.15～13. 1.31	試掘
23	東久保南遺跡第22地点	東久保60街区1画地	1,112	2,703	中古車 展示場	13. 2. 4～13. 2.15 13. 2.14～13. 2.26	試掘後遺跡調 査会で本調査
24	東久保南遺跡第23地点	東久保48街区6画地	97	208	個人住宅	13. 3. 7～13. 3. 8	試掘
25	西ノ原遺跡第118地点	大井・苗間59街区45画地	214	548	店舗兼共同住宅	12. 4. 3～12. 4.12	試掘
26	西ノ原遺跡第119地点	大井・苗間18街区4画地	221	221	倉庫建設	— 12.11.15～12.12. 6	試掘後遺跡調 査会で本調査
27	中沢前遺跡第22地点	大井・苗間59街区45画地	20	212	個人住宅	12. 5.25～12. 5.26	試掘
28	神明後遺跡第13地点	苗間302-1	154	694	個人住宅	12. 4.17～12. 4.19	試掘
29	神明後遺跡第14地点	苗間252-2	196	357	共同住宅	12. 8.18～12. 8.23	試掘
30	大井宿遺跡第3地点	大井80街区8画地	150	605	高齢者介護施設	12. 7. 7～12. 7.13	試掘
31	大井宿遺跡第4地点	東久保12街区8画地	20	122	個人住宅	12. 8.28～12. 8.30	試掘
32	大井宿遺跡第5地点	大井・苗間79街区7画地	288	781	駐車場	12.10.24～12.10.25	試掘
33	大井宿遺跡第6地点	大井1052-1～2・1071	324	2,300	長屋住宅	12.11.28～12.12.15	試掘
34	大井氏館跡遺跡第13地点	大井1-8-1	30	76	事務所	12.11.21～12.11.24	試掘
35	本村遺跡第86地点	大井・苗間86街区1～5	1,528	5,745	公衆浴場	12. 4.19～12. 6.10 12. 5.15～12. 6.29	試掘後遺跡調 査会で本調査
36	本村遺跡第87地点	大井・苗間130街区2画地	72	165	個人住宅	12. 5.31～12. 6. 3	試掘
37	本村遺跡第88地点	大井・苗間89街区6画地	43	154	個人住宅	12. 6.27～12. 7. 3	試掘
38	本村遺跡第89地点	大井・苗間113街区1・2画地	326	942	分譲住宅	12. 7.19～12. 8. 1	試掘

IV 江川南遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境

江川南遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約300～500m程下った右岸に位置している。標高20～21mで現谷底との比高差は約1～2mを測る。福岡江川の北側は急傾斜を成すが、本遺跡をのせる南側の台地は緩やかに傾斜する。遺跡周辺は川越街道に隣接しており、急激な市街化によって大きく変貌している。

周辺の遺跡は、福岡江川の対岸に縄文時代中期前葉の単一集落の亀居遺跡と、鶴ヶ舞遺跡が位置する。福岡江川右岸で本遺跡の西側約150mに、平安時代の遺物を出土する江川東遺跡、さらにその西側約50mに旧石器時代の礫群を検出する東久保遺跡が位置する。

本遺跡の最初の調査は1977年に町史編纂事業の一環として行われ、2001年12月現在15ヶ所で試掘調査およ

び発掘調査が行われている。なお1985年調査の地蔵院遺跡第1地点は江川南遺跡第6地点に変更した。

本遺跡はこれまでの調査で、旧石器時代では礫群、石器ブロックが検出されている。

縄文時代中期前葉では炉体土器を伴う住居跡2軒が検出され、亀居遺跡の立地とあわせて台地の奥に形成された中期前半の遺跡の在り方として特異な様相が窺える。

中・近世では、地蔵院に關係する18世紀前半の陶磁器類が池状遺構から多数出土している。地蔵院は、南北朝期の二階堂氏との関係から氏の館跡との想定もされており、近年の発掘調査では、当該期に遡るとみられる断面箱葉研状の堀跡が確認され、その他の遺物や遺構の確認等が今後の課題であろう。



第14図 江川南遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

3 江川南遺跡第14地点

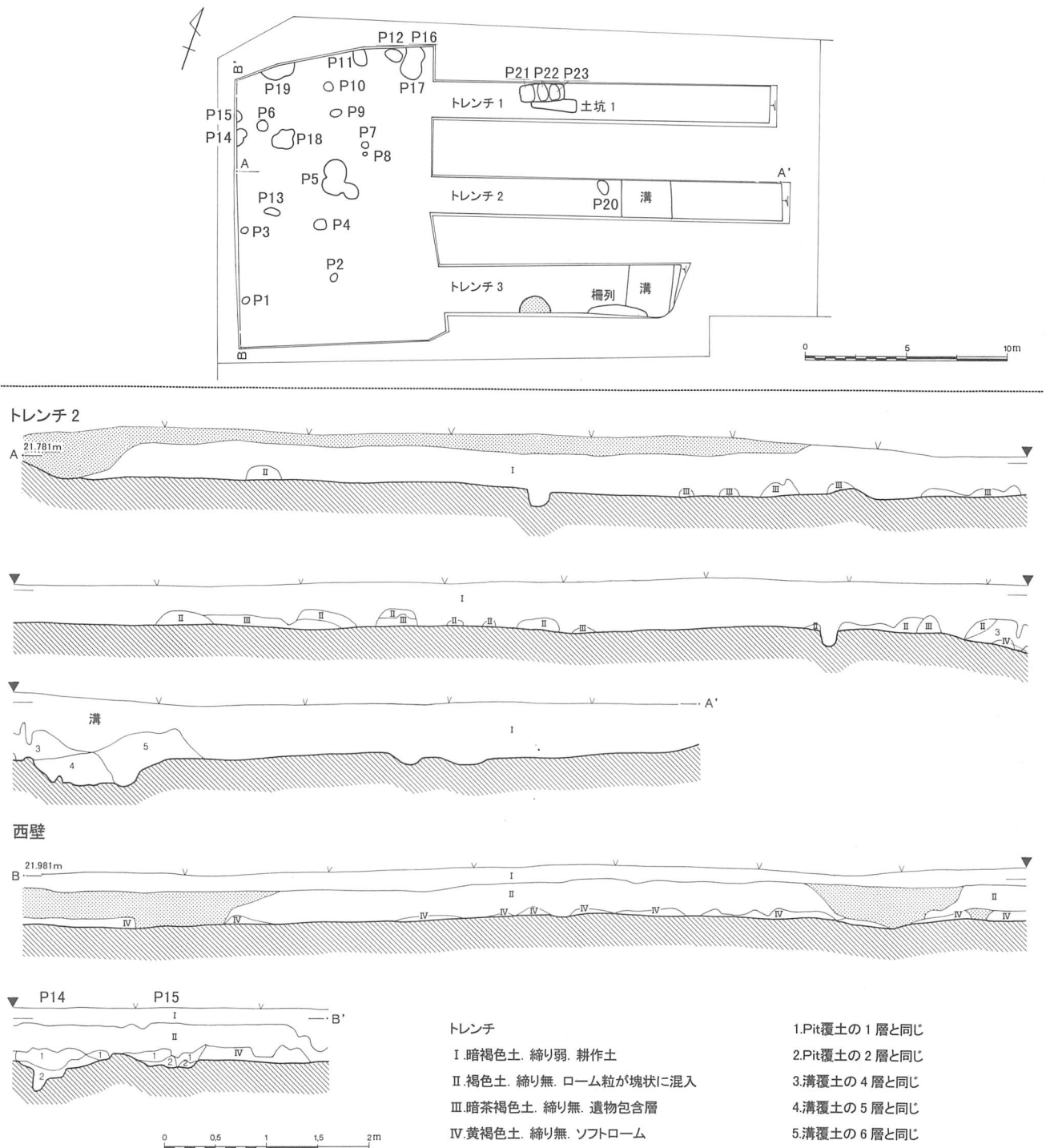
(1) 調査の概要

調査は店舗の建設に伴うもので、原因者より2000年6月28日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央やや南寄りに位置するために申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

調査は7月5日から幅約2mのトレンチ3本を設定

し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行った結果、調査区西側に遺構と遺物を確認したため本調査を行う事になった。

本調査は7月10日から遺構確認部分を重機で拡張し、人力で遺構プランを確認後、遺構を掘り下げた。検出した遺構は土坑、ピット、柵列、溝である。写真撮影・遺構測量等記録保存を行い、重機で埋め戻し、7月18日に調査を終了した。



第18図 江川南遺跡第14地点遺構配置図 (1/300) ・土層 (1/60)

(2) 遺構と遺物

縄文時代のピット20基と近世以降の溝1条、柵列1条、土坑1基、ピット3基を検出した。

【土坑1】P21～23と重なり、ピットより新しい。

【溝】土地境の溝で南北方向6.9mにわたり検出。柵列と重なり、柵列より古い。断面形は底の平らな皿状で、西側が緩やかに立ちあがる。上幅1.74～2.48m、下幅49～69cm、深さ38～43cmを測る。

【柵列】近・現代の遺物を伴う新しい柵列。東西方向に2.9m検出した。ピットの径は36～58cm、深さ12～53cm。

【ピット】調査区の北西部に集中して分布する。検出したピットのうち12基で縄文土器が出土し、未出土のピットも覆土は同じである。ほとんどのピットは浅いしみ状で形状も不規則、自然の窪みと思われるが、P11は深い斜向ピットである。

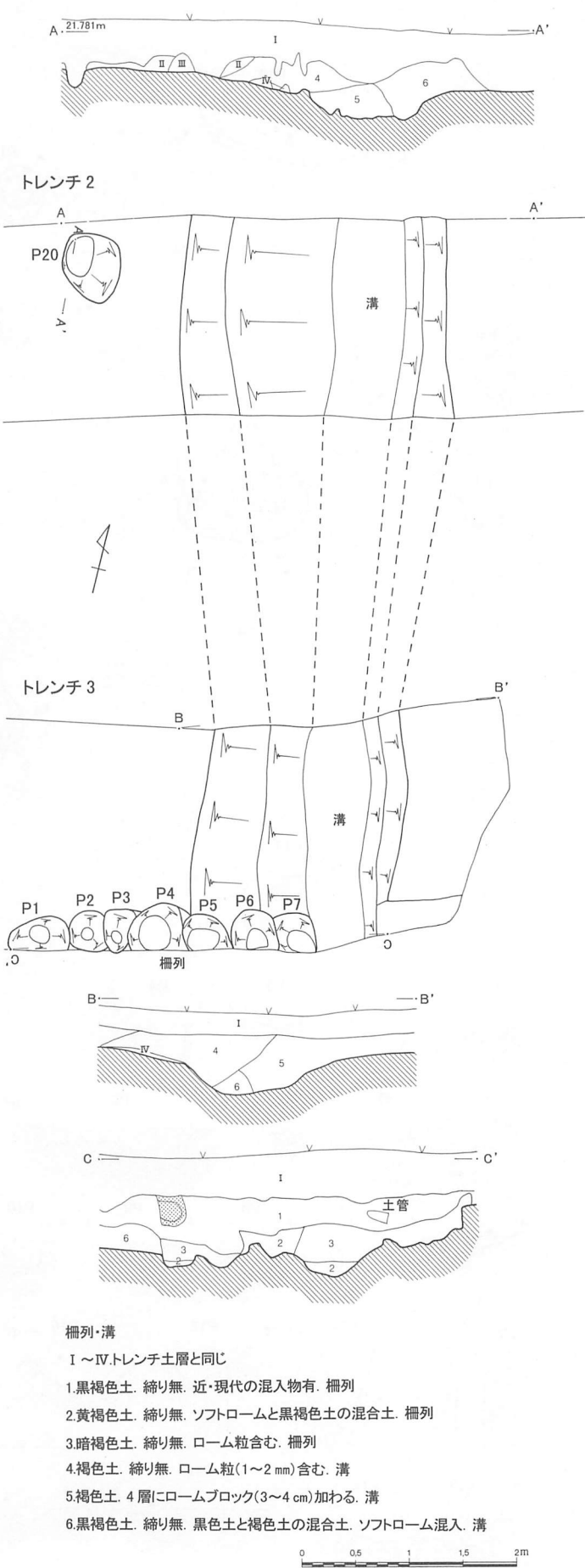
P21～23は中近世以降の新しい遺構。等間隔で連続し、平面形態も方形である。

第8表 江川南遺跡第14地点ピット・土坑一覧表 単位cm

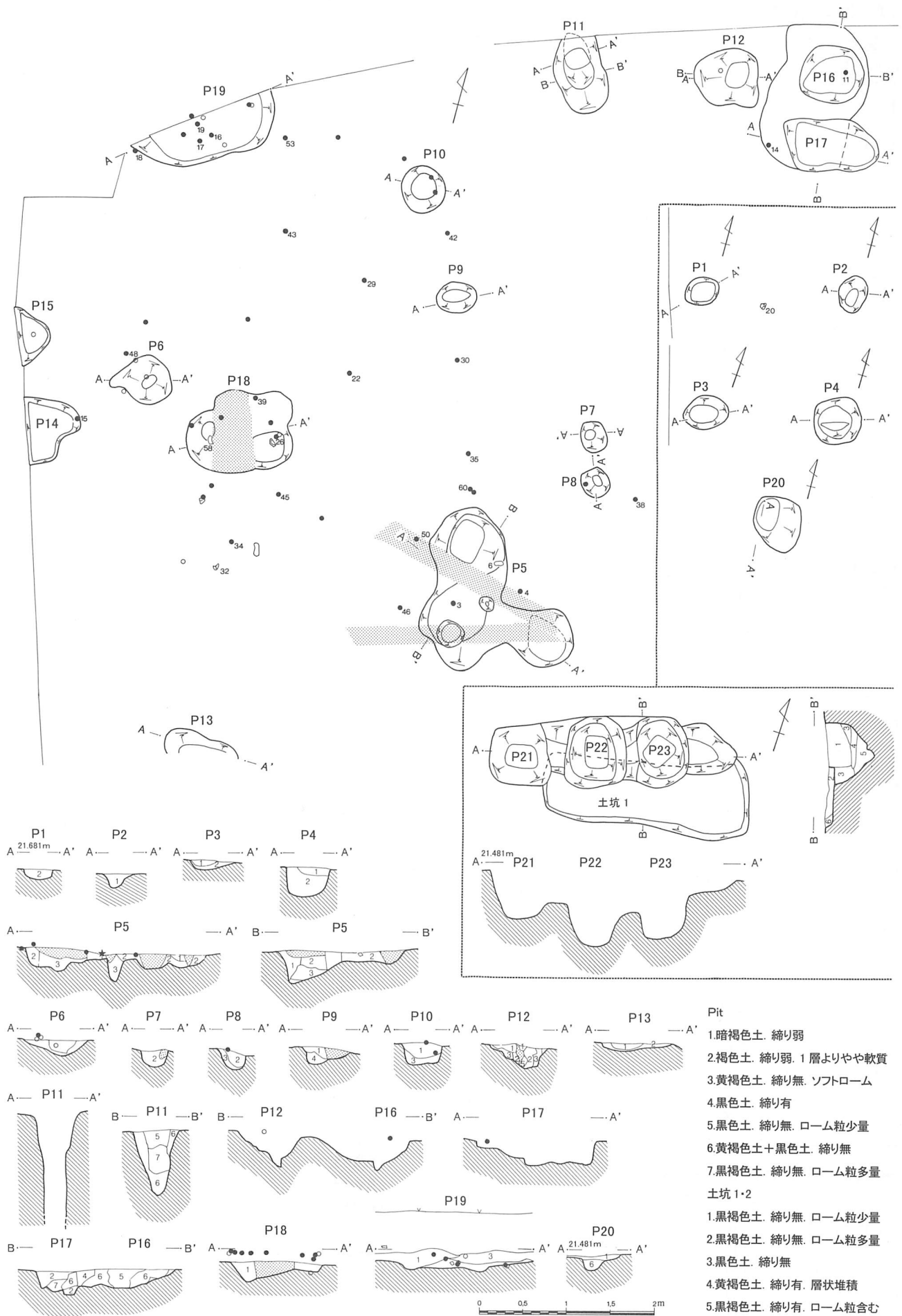
No	平面形態	確認面径	底 径	深 さ	備 考
1	隅丸方形	38×32	26×22	5	
2	楕円形	44×32	22×12	21	
3	楕円形	52×38	32×20	12	土器出土
4	隅丸方形	54×52	22× 8	36	
5	円形	20×16	6 × 4	28	焼粘土
6	不整形	68×56	18×12	20	土器出土
7	楕円形	36×30	14×12	25	
8	円形	32×32	14× 8	24	土器出土
9	楕円形	46×36	32×14	23	
10	円形	52×50	30×28	24	土器出土
11	楕円形	46×38	32×14	23	
12	不整形	72×64	28×26	30	土器出土
13	半掘	86×—		10	土器出土
14	半掘	76×62	64×46	19	土器出土
15		66×36	46×28	8	土器出土
16	不整形	72×66	58×42	26	土器出土
17	不整形	102×58	86×42	27	土器出土
18	不整形	116×94	20×14	31	土器出土
19	楕円形	170×52	132×48	11	土器出土
20	隅丸台形	58×56	38×26	23	
21	隅丸方形	70×68	37×25	54	
22	隅丸方形	81×70	37×26	87	
23	楕円形	81×57	33×29	77	
土坑	長方形	235×—	225×—	16	

第9表 江川南遺跡第14地点柵列ピット一覧表 単位cm ()は推定

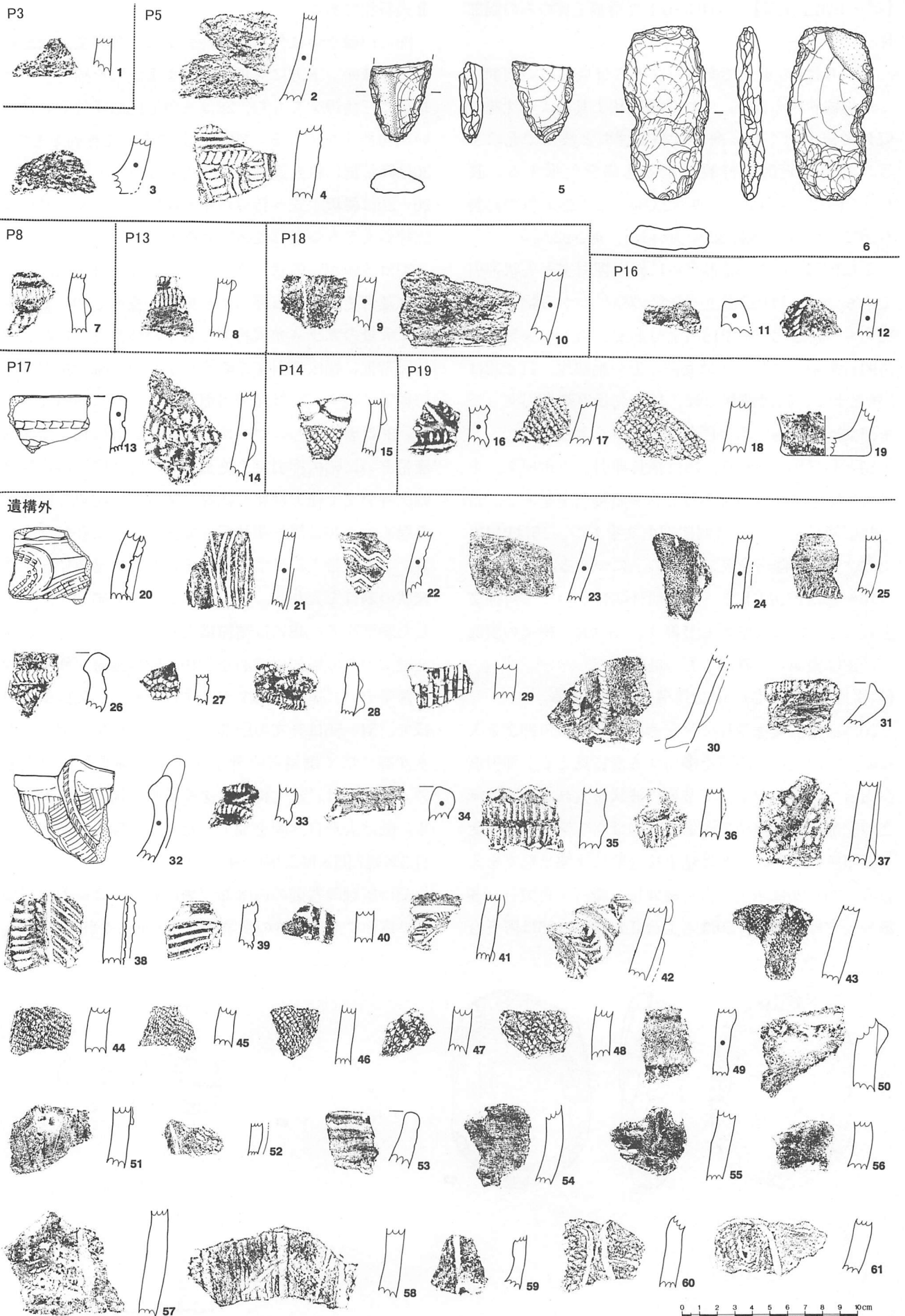
No	平面形態	確認面径	底 径	深 さ	備 考
1	楕円形	58×30	20×16	38	
2	円形	38×(40)	12×12	39	
3	隅丸三角形	40×(28)	12× 8	35	
4	円形	52×44	32×30	53	
5	円形	40×34	30×20	30	
6	円形	40×38	20×18	35	
7	円形	36×34	28×20	12	



第19図 江川南遺跡第14地点溝・柵列 (1/60)



第20図 江川南遺跡第14地点土坑・ピット (1/60)



第21図 江川南遺跡第14地点出土遺物 1 (1/3)

【ピット出土土器】 1はP3出土で指頭圧痕のみの胴部片。

2～6はP5出土である。2と3は底に近い胴部片で白色細砂粒を含む。4は半截管状工具による沈線で縦長区画をつくり区画内は幅広押引と波形で充填する。5は砂岩製の打製石斧で基部を欠損する。長4.64×幅3.5×厚1.3cm、重さ23.8g。6も砂岩質の打製石斧で、長9.89×幅4.82×厚0.43cm、重さ92.6g。

7はP8出土で、隆帯ぞいに幅広押引文と矢状押引文をもつ。8はP13出土で隆帯の裾にかかる幅広押引文をもつ。9と10はP18出土で無文。胎土に金雲母と角閃石を多く含む。10は底部に近い胴部片。11と12はP16出土で、11は波状口縁、12は矢状連続押引文（三角押文）をもち、胎土に金雲母を多く含む。

13と14はP17出土で、13は細長押引文（角押文）をもち、胎土に多量の金雲母を含み暗褐色を呈する。14は幅広隆帯ぞいなどに幅広押引文をもつ。15はP14出土で、菱形の隆帯をR L縄文の上につくる。

16～19はP19出土で、16は刻目隆帯ぞいに三角押文を入れる。17は素熬のL R縄文、18はR L縄文の胴部片。19は底から垂直部をもつ底部片。

【遺構外の土器】 20～64は遺構外出土である。

20は口縁部文様帯片で隆帯ぞいに2列の角押文を入れる。21は縦位に沈線を多用するかに見えるが押引痕がある。22は押引手法で2列の波状を入れる。23は無文の胴部片で指頭圧痕がある。24はクランク状懸垂文と指頭圧痕がある。25は粘土接合部に連続爪形文を入れる。20～25は胎土に白色細砂粒・輝石・角閃石と多量の金雲母を含む。20は阿玉台Ⅱ式古相、25は阿玉台

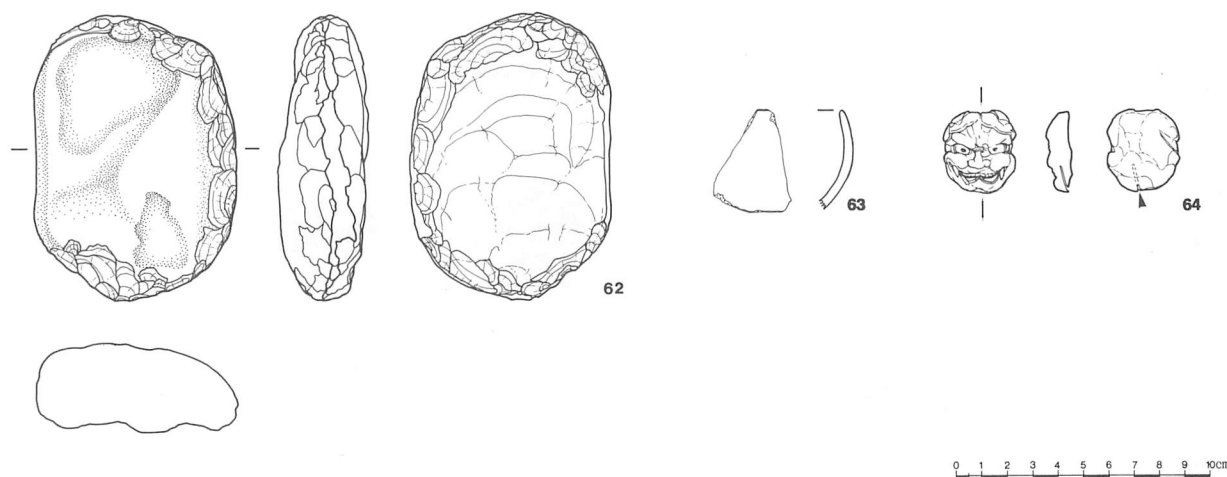
Ⅱ式新相である。

26は口縁ぞいに矢状連続押引文（三角押文）列をめぐらすほか、下方に三角押文による波形を描く。27は複列の三角押文をもち、28は三角形区画隆帯ぞいに鋭い三角押文を入れる。29は押引による沈線列をもち、30は隆帯裾に粗大連続三角押文をもつ。

26～30は勝坂Ⅰ式～新道新相の段階といえる。31は幅広押引文をもつ中形浅鉢片である。

32は波頭から弧状に垂下する隆帯に刻目を入れ、口縁と隆帯ぞいに幅広押引文を施文し波形を加える。胎土に大量のガラス光沢粉末と若干の金雲母を含む。33は隆帯裾に幅広押引文をめぐらす。34は幅広押引文を口縁下に残す。35は隆帯斜面にかかる幅広押引文をもつ。36は磨滅著しいが35に近い破片。37は長三角区画隆帯ぞいに幅広押引文を施文する。38は隆帯の片側は幅広押引文で他方は並行沈線。39は細い沈線で区画内を埋める。40は筒形深鉢細片で区画縁を交互に刺突する。41は隆帯上にC字状刻みを入れ42は隆帯側面に沈線状の刻目を入れる。43～46は細いR L縄文を地文とした胴部片で、43には結節縄文が加わる。47と48は地文縄文のみの胴部片である。49～52は隆帯が残り、52は隆帯ぞいに連続爪形文がわずかに残る。53は無文口縁で、54～56は無文の胴部片。57～59は地文縄文に懸垂沈線で広く磨滅した無文部をもつ加曽利後半のもの。60と61は、地文縄文に沈線で弧を描き他を磨滅する。62は大形自然礫を加工した叩石で砂岩である。長11.3×幅7.95×厚3.3cm、重さ438.4g。

63は灰釉陶器碗の口縁部で瀬戸産。64は般若の泥面子で裏面に型押し時の指頭痕と径0.5mmの串穴が残る。



第22図 江川南遺跡第14地点出土遺物2（1／3）



江川南遺跡第13地点調査区全景



江川南遺跡第13地点集石土坑 1



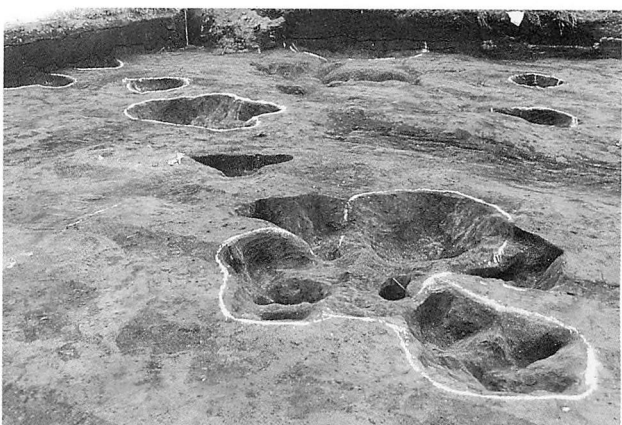
江川南遺跡第13地点集石土坑 2・3



江川南遺跡第13地点土坑 1



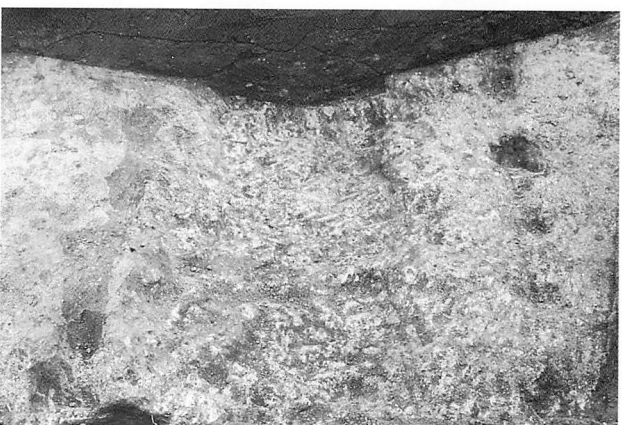
江川南遺跡第14地点調査区全景



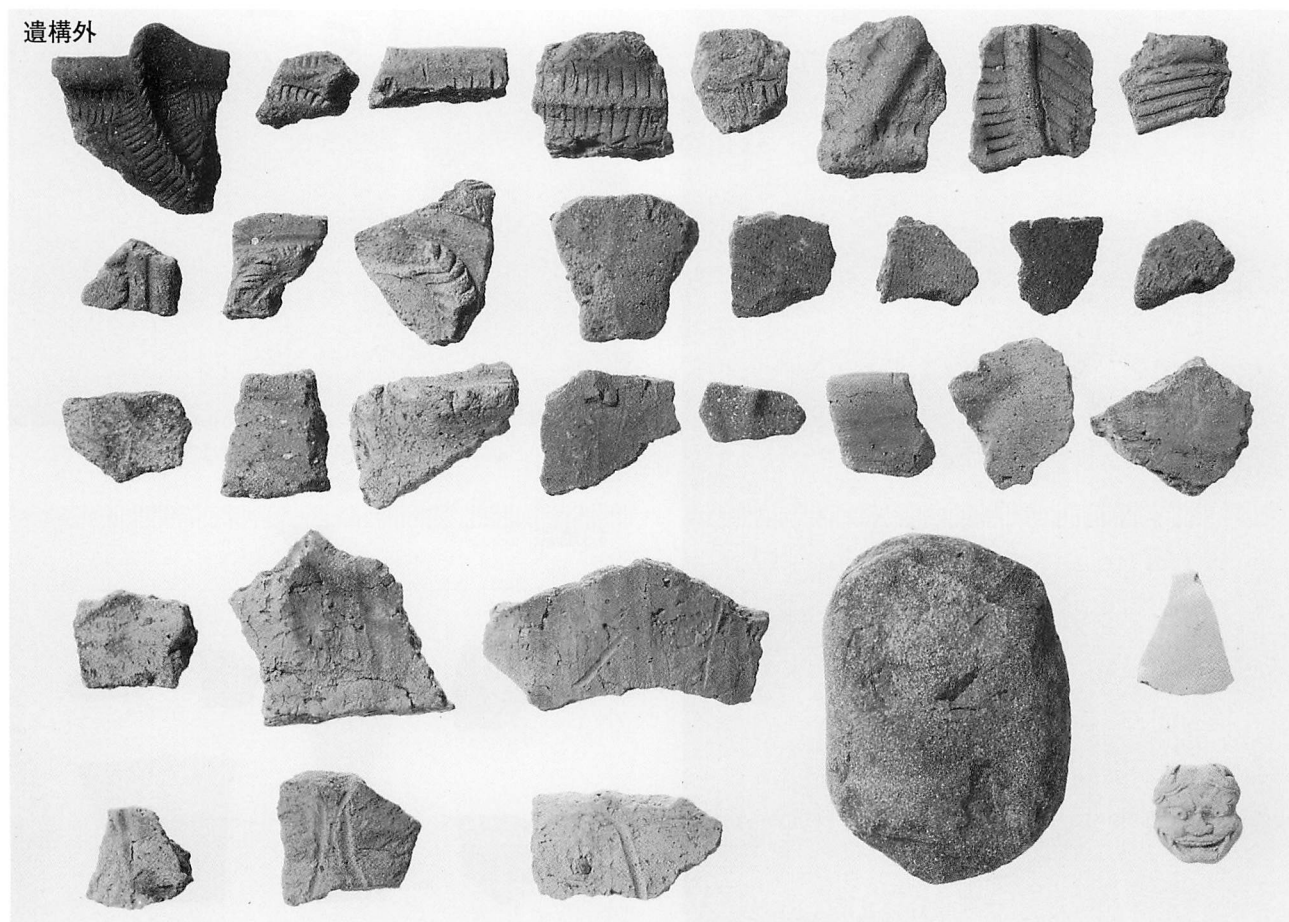
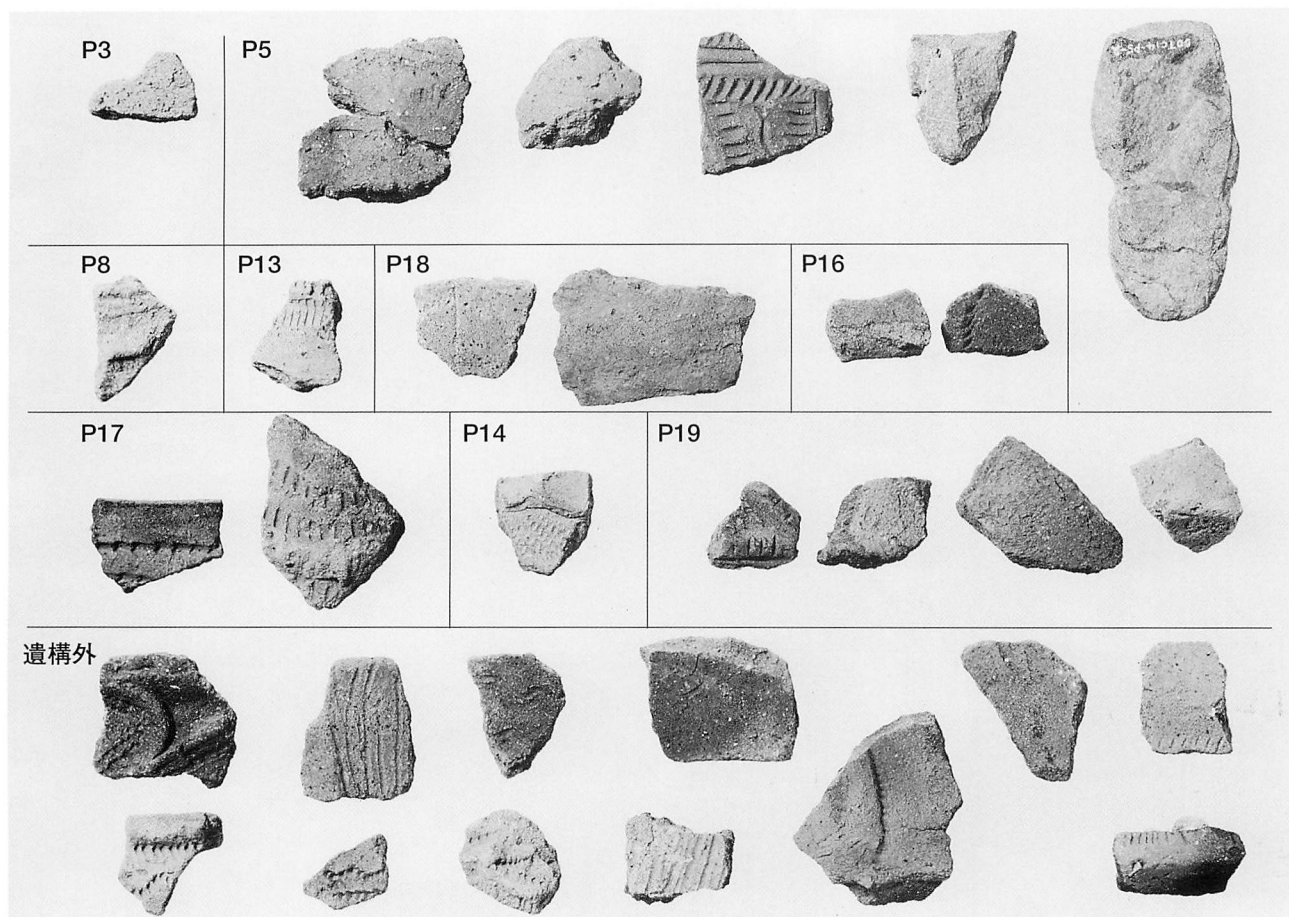
江川南遺跡第14地点ピット 5～18



江川南遺跡第14地点ピット 12・17



江川南遺跡第14地点溝



江川南遺跡第14地点ピット・遺構外出土遺物